



高輪だより

平成30年度3月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

年度末を迎えて

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

いよいよ弥生3月。日に日に春を感じる頃となりました。

過日、年長児が車作りをしていました。それぞれに外装や内装、よく走るための工夫を加えていました。私が翼の付いている車を見つめていると、ある子が「パソコンで見たの、空を飛べる車の実験が成功したんだよ。次はタイヤを付けて実験するんだって」と私の様子を見て、自分が得た情報を自分の言葉で伝えてくれました。この時期の年長さんらしい姿や言葉に成長を感じ、とてもうれしい気持ちになりました。年長児が幼稚園の教育を修了する日まであと僅かとなりました。高輪子どもまつりや運動会、子ども会など、大きな行事がひとつ終わるごとに自信をつけていく姿にいつも感動していました。心も体も大きく成長し、顔つきも凛々しくなり眩しいほどです。小学校という新しい社会に巣立っていく年長組の皆さんに心からエールを送ります。

年中児は、年長児から当番活動や誕生会の司会の引継ぎを受けています。年中児は「次は自分たちがやる」という思いで年長児の行動を真剣な眼差しで見たり一緒に行ったりして学んでいます。先日森の公園へ探検隊で出掛けた時は、存分に遊び、帰路でも弱音をはくことなくしっかりと歩く姿に大きな成長を感じました。年少児は、生活や遊びの中で自分でできることが増えました。もうすぐうめ組、もも組になることが分かり、2階に行く階段の足取りがとても軽やかです。どちらも1年前を振り返ると大きな成長の姿です。そして進級への期待と自覚が高まっています。

広く世界を見ると様々な分野で発展のめざましい現代です。近い将来、「空陸両用の車」が実現しようとしています。将来、高輪幼稚園児の中から開発に関わる人が出るかもしれないと思うとワクワクします。よりグローバル化する未来では、一層、自分で考え判断し、行動できる力や人と良好な関係を築く力が必要です。未来の社会で活躍できる人を育てるために、その基礎を培う幼児教育はとても大切です。さらに幼稚園教育の充実に邁進して参ります。保護者の皆様、地域の皆様1年間ご支援、ご協力をいただきありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

<年長/年中> 当番の引継ぎ



<年少>あこがれの2階へ



年長児 張り子



年少児 貼り絵

ひな人形づくり



年中児 吊るし雛